



岩沼市斎場のペット火葬等

酒井 信幸

問 斎場が供用開始してから、ペットの火葬件数は何件か。

市民経済部長 11月末現在、ペットの火葬件数は138件です。

問 火葬炉を新設するに当たり、件数を何件に設定していたか。

生活環境課長 年間約300頭と見込んでいました。

問 5月に斎場の運用を開始して、予約方法が12月になって変更になったが、どのように変わったのか。

生活環境課長 基本的には一般火葬を優先することは同じですが、ペット火葬をなるべく受け入れるようにして、午前中は9時、10時、11時の3回のうちの1回、午後は1時、3時の2回で、ペットの遺骨を持ち帰る場合について1日3回を限度に受け入れるように変更しました。

問 今回、変更したが、これまで利用者からの苦情等があったのか。

生活環境課長 一般の火葬が行われているとペット火葬の対応ができないので、当日に火葬できるよう改善を図るべきとのご意見をいただいています。

問 苦情等の件数は何件あったか。生活環境課長 これまで10件ほどありました。

預かり火葬の検討すべき

問 ペットの遺骨を持ち帰る方の預かり火葬は現在、行っていないが、利用者に沿った対応として、預かり火葬について検討してはどうか。

生活環境課長 一般の火葬が混み合った場合やペット火葬が集中した場合など、預かり火葬について考えなければならぬと思います。

問 岩沼市斎場の場所がわかりづらい。案内板の設置を早急に検討すべきと思うがどうか。

生活環境課長 斎場入口に12月中旬に大きな看板を設置予定です。また、斎場入口の北と南100メートル手前に看板を設置する予定です。

◎その他の一般質問

・運転免許証の自主返納者に対する支援



高齢者福祉

植田美枝子

問 高齢者の地域社会でのさまざまな課題を、地域の問題として捉えるための意識の向上を、どのように図っていくか。

健康福祉部長 地域ケア会議の場などで、課題の共有や問題解決のために検討を重ねています。

問 介護予防サービスは、現在どのようなものがあるのか。

介護福祉課長 訪問型サービス・通所型サービス・健幸いきいき広場・介護予防教室事業等があります。

問 本市独自のサービスはあるのか。

介護福祉課長 全てが本市独自のサービスです。

問 交流サロン等への助成金は何件か。

介護福祉課長 10カ所の交流サロンと24カ所の介護予防サロンに助成金を出しています。サロンは市内に87カ所あります。

サロンへの助成金の充実

問 サロン等にもっと助成金を出して活発な活動を促してはどうか。

介護福祉課長 高齢福祉サービスでは、住民主体による交流サロンなどへの助成を実施し、広がりのある活動につなげていきたいです。

問 今後の在宅医療をどのように捉えているか。

健康福祉部長 在宅医療の需要は増加するものと予測しており、高齢者が住み慣れた地域で自分らしい生活を続けていく地域包括ケアシステムの構築、医療と介護と福祉サービスが連携する事が重要になってくると考えます。

問 ボランティアポイント制度をどのように捉えているか。

健康福祉部長 市民活動の推進や、地域づくりへの参加を促す手法の一つと考えます。

問 ボランティアポイント制度を導入してはどうか。

健康福祉部長 今は、ボランティア登録制度を定着させることを考えています。

◎その他の一般質問

・創業支援対策